

## 春 彦山川河川敷鯉のぼり掲揚 風受けてたなびく鯉のぼり

「ひこさんがわ夢の会」の鯉のぼり掲揚が4月9日に上野橋で行われました。春の風物詩となったこのボランティア活動は、今年で14回目。会員と上野焼協同組合約50人は、手慣れた手つきで、上野橋から4方向に張ったワイヤに大きさま配色バランスを考えて鯉のぼりを取り付けました。掲揚された鯉は、一年ぶりの穏やかな風を感じながら、悠然と泳いでいました。



14チームに分かれて約2時間作業。色とりどりの100匹を春の青空に放ちました。

↓何も無い避難所生活に、サッカーができる環境を届けるために集まった参加者。



## サ 震災支援チャリティーサッカー サッカーを通じ被災地の子どもに元気を

田川郡内のサッカークラブが協力して、被災した子どもたちに「サッカーをさせてあげたい」と4月19日に金田ドームでチャリティーサッカーを行いました。参加費として集めた8万6千円は、被災地に送られ、サッカー用具購入にあてられる予定です。参加した36人は「全国のサッカー仲間が応援していることを伝えたい」と熱い思いをあらわにしていました。

## 福 虎尾桜が昨年より2週間遅く開花 智山中に咲く巨桜を仰ぎ見る

福智町が誇る「虎尾桜」が今年も見事な姿を披露しました。昨年にくらべ、寒い日が続いたために2週間ほど開花が遅れ、4月7日ごろに満開を迎えた虎尾桜。テレビなどで紹介され



た影響もあり、特徴的な鮮やかな緋色の桜を一目見ようと、たくさんの方が訪れました。約2週間ほどで花は散ってしまいましたが、日本の名桜100選にも選ばれている、その圧倒的な存在感で咲き誇る姿は、今年も多くの人を魅了しました。

←県内最大の「エドヒガン」で推定樹齢は600年。息をのむほどの鮮烈な美しさです。

↓筑紫女学園大学大学院の山崎教授の助言に、122人の参加者が聞き入りました。



## 誰 地域福祉活動計画住民報告会 誰もが安心して過ごせる地域を目指して

社会福祉協議会と町が2年8か月を要して策定した「地域福祉活動計画」についての住民報告会が4月15日に金田分館で開かれました。報告会は、住民アンケートなどを通して、住民が抱えている、急速に進展する高齢化問題などを対処するための具体的な活動計画を説明。「安心して暮らせる地域」を目指し、官民一体で取り組む地域福祉活動の重要性を唱えました。

↓急ぎ開催が決めたにもかかわらず、史上最高人数が訪れた地域交流センターのステージで。



## 福 IKKO & 男の浪漫チャリティーコンサート 智から東北の復興を願って

500人以上が押し寄せた4月15日の地域交流センターで、福智町出身の美容家・IKKOさんのコンサートが開催されました。九州男児10人グループ「男の浪漫」と共に、歌やダンス、トークで観客を惹き付けたIKKOさん。終演後は来場者全員と握手し「気を付けて帰ってね」などと声を掛ける様子も見られました。IKKOさんの意志で、千円の入場料はすべて東日本大震災の被災地に送るとされていたこのコンサート。この日、義援金も合わせて80万1,636円が集まり、町を通して寄付されました。

## 思 町内3中学校 義援金募金活動報告 思いやりの心を集めた3中学校

3月24日、町内3中学校の生徒会役員が嶋野勝教育長を訪れ、義援金の報告を行いました。これは、東日本大震災の後、3校の生徒がそれぞれ町内外で行った募金活動で集められたもの。わずかな期間で約115万円を集めた生徒に、嶋野教育長は「人のために何かをやるという気持ちを大切に、今後の学校生活の中でも生かしてほしい」と願いを込めました。



1 金田中が53万9014円、赤池中が49万1701円、方城中が11万4569円を報告。

↓「これからよろしくね!」。はじめての教室で先生と握手を交わした伊方小1年生。



## 満 町内5小学校で入学式 満開の桜が新生活のスタートを祝福

町内の小学校5校で、4月7日に入学式が行われました。本年度は251人(市場小65人、上野小21人、金田小97人、伊方小55人、弁城小13人)の新1年生たちが、新しい学校生活を元気にスタート。伊方小では、制服に身を包み、大きなランドセルを背負った新入生が保護者に手をひかれ、満開の桜に囲まれた校門をうれしそうにくぐる様子が印象的でした。